

## 70. ホヤ 海鞘



### ◇撮影後のコメント◇

お願い。ホヤ嫌いな方は当頁読み飛ばして、ネガティブな風評を発信しないで。ホヤ好きな方へ、肩身が狭いであろうが、県内百人に一人はいる。否、千人に一人かも。仮にその十人に一人が今日食べたいとすれば、約百個/日の需要があることになる。これを全国レベルで考えると？養殖しませんか？ホヤは正直な食物。写真：宮城産。

滋養（ミネラル）豊富な食べ物であるが、見かけない。いつも利用の鮮魚店で聞いたがあるのはあるが、単価が安く箱単位もしくは、キロ単位でしか出せないし、人気ないので出ないし、小分けで出せないとのこと。確かに、正確なデータはないにしろ、これが好きな方は少数派であり、それを知らない（未食の）方と一度食べたが嫌いな方が圧倒的多数であろう。しかし、ワシは、その好き・美味しさに気付いてしまった。数年前、熱狂的な方を見かけた。あるスーパー内の鮮魚店でレジ袋からはみ出す程買われていた。こんなに沢山どうするの？と尋ねたら、今から鮨屋へ行行って握りにしてもらおう、たまらんねえとの返答であった。これでホヤ好きが県内2人いた事になる。まだいるであろう。しかし、嫌いな方は、それを好む方の人格を否定する非合法的なモノの様な扱われ方である。すしの評論に際物ともあった。その復権を静かに心から誓う。県内産の養殖でその道を拓こう。